

南海電鉄 20001系

20001型 形式図

1961年に登場した南海高野線の特急電車

デラックス・ズームカーと称し、平坦線でも急勾配区間でも高性能が発揮できるのが第一の特徴

前頭部は大きな局面ガラスを使ったユニークなデザインで、ヘッドライトは3個

冷房を始め特急者にふさわしい設備を備え、塗色はこだま型と同じ赤とクリーム、そして屋根が銀色、下まわりがグレイの色分け

モハ20001・モハ20100・サハ20801・モハ20002の4輦固定編成1本、製造は帝国車輛、台車はFS 338

図は製造当初、左を難波(大阪)寄として示す

なお、図の窓寸法はガラスの見える範囲で、鋼体寸法ではない

